



おばさんの事好きになっちゃったの？

～体の相性がよすぎて離れられなくなったスケベな三人♡～

今日もおばさんと
いっぱいエッチな事しようね♡

はあ♡
はあ♡

じゃあ♡

♡♡♡
♡♡♡
♡♡♡

香^か耶^やと待ち合わせしてるから
行ってくるねお母さん
それじゃあ行く真城くん♥

そ、そっだねぐでも今日は俺…
ちよつと…

なあに？一緒に行かないの？

真^ま城^{しろ}くんにはちよと
お手伝いしてもらいたい事があるから
だから今日は美保二人で行って来たら？

お母さん一人だと重すぎて
助けてもらいたいから

そうなんだ
そういう事なら
それじゃあね真城くん、また明日♥

うん、また明日

ガキ



それじゃあ美保も出かけた事だし
今日も始めましょうか♥

はいはい
すみませんけどお願いします
ドキドキドキ♥

いいわよ、それじゃあおつかい♥



俺はいつも母親ほど年の離れた女性に
いかがわしい事をしてもらって
ストレスを発散させている。

はあっ
はあっ

しかもこの人は
ただの女性なんかではない

この人は将来の結婚を誓って付き合っている
俺の大切な恋人のお母さんなのだからだ。

でもどうして
そんな大切な恋人のお母さんと
こんな関係に
なってしまったのかというと

それは俺と彼女の
普通の恋人同士ではありえないような
特別な事情が深く関係していたからだったのだ。

その特別な事情というのは
「清いカップル交際」

ずっと片想いで大好きだったあずきみほ亜豆美保と
付き合い始めて数か月

俺は有頂天の真っただ中にいたのだが

でもその彼女である美保とはエッチはおろか
キスさえした事がないような
清く正しいカップルそのものだったのだ。



俺は漫画家を目指していて
彼女は声優になるって夢をお互い持っていたから
その二人の夢が叶って
そして俺の描いた漫画がアニメ化された時に
結婚しようという約束をしていたから

俺達はその夢が叶うまでは
友だち以上恋人未満のまま清い関係でいようって事
になったのだった。

しかし、そうは言っても俺は若くて健康そのものな
どこのでもいる06歳の男子0校生だ。

エッチな事には当然興味があるし
性欲だって売るほど有り余っている。



それに何よりめっちゃめっちゃかわいい彼女がいるのに
手を握る事さえ許されない状況だったから

俺はふっふっつと湧き上がってくるドロドロの欲望を抑えながら
悶々とした日々を送らざるおえない状況に置かれていたのだった。

そんな状況に追い込まれていた俺が
当然だといふべきか魔が差したといふべきか
美保の家のトイレに行った時に悪魔の声がささやき始めた。
通りがかりの脱衣所で偶然にも
美保の脱ぎ捨ててあつた下着を見つけてしまったのだ。

そんな物

毎日性欲を抑えて過ごしている俺に
見過ごせるわけがない。

当たり前のように欲情してしまった俺は
少しでも満たされぬ自分の性欲を満たそうとして
彼女の下着に手を付け
そしてそれに顔をうずめて
匂いを胸いっぱい吸い込みながら
自慰行為を始めてしまったのだった。

ほんの些細なたわいもない出来心だった。
しかし間の悪い事が起きるのはつきものである。

俺は亜豆のパンティに夢中になるあまり
おばさんが近づいて来る事さえ気がつかずだ

絶対に他人には見られたくはない
恥ずかしい醜態を
見られてしまったのだった。

あうー！

ま、真城くんっ……！！

びんっ

おっ、おばさんっ……！！

これで全てが終わってしまったのだと思った。
いくら相思相愛になって将来の結婚を誓っていたとしても
こんな事をしている男が娘の彼氏でいるなんて
許せるはずがないと思ったからだ。

やだもう真城くんたら
驚かすんだから……

ドキ
ドキ

ドキ

ギャッ

でもそんな俺の予想とは裏腹に
お婆さんの俺への対応は
まったく違うものであった。

おばさんは落ち込んでいるを俺を
憐れんでくれたのか
決して責めたりなんてせずに
それどころかかなり気を使ってくれて

うっ…
亜豆の目の届かないおばさんの寝室で
逆に慰めの言葉をかけてもらって
傷つかないように励ましてくれたのだった。

すっ

そうだったんだ
結婚するまでは
エッチはお預けって事になっているから
だから我慢できずにあんな事をしていたのね

大丈夫よ
そういう事なら美保には内緒にしておいてあげるから
だから気にしなくてもいいんだからね

はいはい、すみません
ありがとうございます…

すごく嬉しかった。
まさかあんな事をしていた俺を
こんなにも優しく許してくれるだなんて。

人生最大の窮地から一転して
一気に救われた気持ちになった
俺だったんだけど

ドキ

ドキ

でもまさかこんな状況からおばさんと
あんな親密な関係になってしまったなんて
この時はまだ思いもしなかったのだった。



でもオツギはビックリしちゃったわ
まさかああいう事をする子とは思っていなかったから
本当に驚いちゃったんだけど

真城くんもやっぱり
ちゃんとした男の子だったって事なんだよね♡

くすっ

美保とエッチな事ができなくて
あんな事をしてしまっんだもの
すごく大胆な事をしていて
本当にビックリしちゃったわ♡

そ、そうですね
すみませんでした
お見苦しいものを見せてしまって……

いいのよ謝らなくても
別に責めてるわけじゃないんだから♡

女の子とは違って男の子は色々大変だし
それにせっかく彼女がいるのに
手も付けられないんじゃないや

真城くんもどうしたらいいのかわからなくなってしまうものね♡
だからさっきの事は
本当に気にしなくていいから
あまり考えすぎないでね♡

ひひ

はいはい
本当にありがとうございます……



それにねもっぴとっただけ
気にしなくていい理由があつて
こんな事を言ったら真城くんが悪いんだけど♡

え？
な、何がですか？
気にしなくていい理由って

ふふふ、知りたい？

実はね真城くんが一生懸命になって
顔をうずめていたものなんだけど…

実はアレ
おばさんの下着だったって
事なんだけど♡



ええっ！

そっ、そうだったんですか？！

あれはおばさんのだったんですか？！

ドキ
ドキ

ふふふ、そうなのよ♡
だから美保に負い目を感じる事なんて
何も無いから
おばさんが許してあげれば「J」の話は
これでおしまいって事になるわけなんだけど

どおかしら♡
これなら何も気にしなくても
よくなったでしょ？

そっ、そんな…
まさかおばさんの下着で
あんな事を俺…

残念だったわねおばさんなんかの下着で♡

ガツカリさせちゃったかしら♡
ふふふ♡

すす

そっ、そんな...
お、俺なんて言ったらいいのか...

.....

.....



(そっ、そうだったのか…
それじゃあすっごく馬鹿みたいだな俺…)

っっ…

(おばさんのパンティなのと
っっきり黒豆のものだと思ひ込んで
あんなにも二人で興奮したりして)

31
31

(しかもそのあげくに
おばさんにオナってるところを
見られてしまったんだもんなあ…)

(ほんと情けなくなっちゃって
…トホホ)

(んっでもまじよ…
という事はあのパンティから匂っていた
すくく甘酸っぱくてエッチな匂いって
お、おばさんのアソコの匂いだったって事なのか?...ゴクッ)

ドキ
ドキ
ドキ
ドキ

(だとしたら)

おばさんがすくく近くにいるせいか
なんだかすくく生々しく感じて
ドキドキしておっぱいやアソコが...

(隣の女性のしつかも黒目のおっぱいの
あそこの匂いだっただなって)

(おばさんやアソコからすくく匂いがするせい
アソコはアソコの匂いとは違って
いつもあんなにエッチな匂いをおせているって事なのかな...ゴクッ
そ、それなら今もきこえて...ドキドキドキ)

どうしたの真城くん
急にだまりこんだりして？
もしかして美保の下着じゃなかった事が
そんなにもショックだったのかしら♥

おばさん気を紛らわせてあげようと思って
冗談のつもりで言っていたんだけど
言わない方が夢を壊さなくてよかったのかしらね♥

ドキ
ドキ
ドキ

べ、別にショックとかさういうわけじゃ

ただおばさんのパ、じゃなくて
し、下着を使っていたのを
おばさんに見られてしまったのは
随分と間抜けな話だなと思って

それにあの匂いがおばさんのだって思ったら
ちよっとなんだか変な気分になってきちゃって、それで…

え？変な気分って？

えっ、えっど、そっそれはその…
(しまった余計な事をっ！)

あせ
あせ

それはですね
おばさんの下着を使って
その、お、オナニーしていた事を思い出しちゃって
それで…

(わっ、馬鹿っ！何を言ってるんだ俺はっ！)

ドキ
ドキ
ドキ

ムッ
ムッ

やだもう真城くんったら
そんな事思い出していたの？

おばさんなんてもう若くないから
変な臭いしかしなかつたんでしょ？
恥ずかしいからそう言うのは
すくっ寝ねてほしいんだけど♥

そ、そんな変な臭いだなんて
俺夢中になっていたから
あまり覚えていないんですけど
でもなんだかすごくエッチな気分になって
それで色々とおんな事したりして…

あせ
あせ

そうだったんだ♥
それならお婆さんの下着も
少しはお役に立つ事が
できたってわけなのね♥

△△

△△

そんな役に立つだなんて…
ドキドキドキ…♥



でもさっきのはお邪魔しちゃったから
なんだか悪い事をしたみたいね♥
本当は最後までちゃんとしたかったんでしょ？
あんなに夢中になっていたから♥

そんな事ならどうも
もう気にしていませんが
ああいう事はまたいらしてはダメですわがら

ほんとに？

はははは♥
でもさっきの言っている事は
あまりそうは見えないんだけどな♥

えっ？
どうしてこの事がおかしく
なれば……ツキツキツキ……

ムッ ムッ

まだわからない？

真城くんさっきから
ずっとズボンを膨らましているから
おばさん気になっていたんだけど♡

え？
ズボンって…

ズボン

あ

あ



ええっ!!

いっしょのまじゅー!

あ、あのおぼろんじねはっ…なにっ何でっ…

かあ

あっっ

その…いっぬとわらっー
あの…どっどっしちやっただる俺
オッキの下着の事を思い出していたら
いんならっふなってしまったのかな
急っ…その…勝手にっ…

すっ

ドッ

ドッ

ドッ

もう、真城くんったら
自分で気がつかなかったの?
さっきからずっと大きくさせていたのに

真城くんったら
本当におちちよいぢよいなんだから♥

あ、ええっ…

…す、すみません色々…

（うっ……な、何をやってるんだよ俺はっ！）

かあ
あゝっ
（せつかく俺をかばってくれたのに
お婆さんの前で
またこんな醜態をオラにしてしまったなんて
本当に俺ってやつはしっぺん……）

ゴッ
ゴッ
ゴッ

……

……



でもしようがないわよね
そうは言ってもそんなになるまで
ずっと我慢していたって事なんだものね
真城くんは♥

彼女がいるのにキスもできないだなんて
普通の男の子だったら
つらい事なんだものね、きつと
だからこんなになるまでずっと我慢して……

……

……

ズン

ドキ

ドキ

ドキ

ねえ真城くん

はいはい

おばさんのおせっかいかもしれないんだけど…

ドキ
ドキ
ドキ
ドキ

ビュッ

そんなに我慢できないくらい溜まっているのならおばさんがちよつとだけスッキリさせるお手伝い、してあげようか？

ええっ？

す、スッキリしてどうしたらいいんですか？
その、おばさんがどう思っているのかわかんないけど…

そうめん、そのままがなんだけど
どおするん？

たいした事はしてあげられないんだけど
でもこのままじゃ美保の部屋にだって戻れないし
それにこれから先もずっと美保とエッチな事ができないのなら
真城くんも大変だろうから

ドキ
ドキ
ドキ

だからねこの際ちよっとだけでも
スッキリさせていた方が
いいと思うんだけど♥

な、何言ってるんですか

亜豆のお母さんに

そんな事してもらうわけには……ドキドキ

それに俺おぼさんだ何もしてあげた事がないのに

ズンズンと……アキアキも……

ズン

どうしてって

それはただの気まぐれみたいなのなのよ♥

せつかく彼女がいるのに
悶々としている真城くんを見ていたら
なんだかこのままほっておけなくて
それでちよつとだけ助けてあげようと思ったんだけど

それじゃ納得できないかな？

ドキ
ドキ
ドキ

ムムッ

もちろん無理にとは
言わないけど♥

でも俺…

そんな事急に言われても…

ドキドキドキ…

まさかの驚く展開だった。
おばさんはきつと俺の情けない姿を見て同情してくれて
そんな事言ってくれたんだと思うけど

でもだからと言って彼女のお母さん
そんな事をしてもらうなんて
絶対にダメだと思っていた。

キゅっ

あっ、おっおばさんっ！

キゅっ
キゅっ

でも俺のチンチンはオナニーの途中のまま
さっきからもうすでに限界にきていて
結局俺はおばさんの甘い誘惑を断りきる事ができずに
その空気の流れに呑み込まれるままに
してもらったのだった。

ほら見て、もうこんなに硬くなってさ♥
やっぱり自分でするよりも
誰かにしてもらった方が
何倍も気持ちよくなれるのよね♥

き、それはどうですかと
でもやっぱり黒豆のお母さん
こんな事してもらうなんて

はあっ
はあっ

キキキ
キキキ

ムムム
ムムム

や、やっぱりやめた方が…はあはあっ

ガク
ガク

(なっ、何だこれっ！
気持ちよすぎて

こんなの全然我慢なんてできないよ！)

はあ、
はあ、

(おばさんの柔らかい手と
おっぱいの温もりがすい〜ん地獄めんと)

じゅわ

ふわ
ふわ
ふわ

(お、俺もっすべに
イキそうになってー)

びゅ
びゅ

はあっはあっ、ああっ、おっおばさんっ！
俺っ、俺っ……♡

(そ、そんな、俺おばさんに手でシゴかれて
射精させられちゃってるんだっ！まさか本当にっ！)
ゾクゾクゾクッ♡

はあっ、
はあっ、
どうだった？
たくさん出したみたいけど
これでちょっとはスッキリした気分
なれたかしら♡

は、はい、はい……

エキ
エキ
エキ

ズク
ズク
ズク

ズク
ズク
ズク

そうなの
それならよかったわ
また少しはお役に立つ事が
できたみたいだからね♡

は、はい……はあ、はあ……

ズク
ズク
ズク

ズク
ズク
ズク



でもね今日はこれでいいけど
真城くんは男の子だから
またきつと溜め込んでいっっちゃうと思っから
またムラムムしてきたら
おばさんに言ってくれてもかまわないからね♥

あんまり溜め込みすぎるとのちもよくないし
それに他の女の子と浮気でもしたくなくて
美保と別れる事になってもいけないから

トキ
トキ
トキ

だからね、またしてほしくなったら
おばさんに...

は、はい...すみません...
はあはあ...

ザクザク

ズルズル

いくら同情を誘うような情けない姿をしていたとはいえ
どうしておばさんが俺なんかのために
こんな事までしてくれたのか
その時はよくわからなかったけど

でも亜豆にだけは俺の見苦しい醜態を
知られなかった事に
とりあえずはほっとしていたのだった。



そしてその日以来
亜豆と今まで通りの爽やかな交際を
続ける事ができたんだけど

はあっ

はあっ

でもおばさんに
あの日にしてもらったあの衝撃的な感触が
忘れられずに



俺は恥を忍んで
おばさんがあの時言ってくれた優しい言葉に甘えながら
亜豆のいなくなった二人だけの時間になるぞ
こうして俺の有り余った性欲の処理を
おばさんにしてもらっようになっけい

そして自分の欲望を
どんどんと肥大化させていって
おばさんとますます親密な関係へとなっけいだった。

美保がいる時から
ずっとソワソワしていたけど
おぼえんに早くしてもらいたかったの？

はあっ

はあっ

は、はい
我慢できずに
アノコが痛くなぬゆえに
ずっと勃起しちゃったから

だから早くしてもらいたいが
うずうずしていで
だ、だから俺っ…

ふいふい、そっすなんだ♥
初めての時は
あんなにもためらっていたのに
今では自分からおねだりしてきて
真城くんも随分と様変わりしてきたわよね♥

だ。だっておぼえんに
こんな事してもらおうよっになったら
我慢なんてもしてきなへくて

ニクニク

ニクニク

ニクニク



イッパッパッ
イッパッパッ

イッパッパッ
イッパッパッ

ドグドグ
ドグドグ

おはよう〜

はあはあ、あめあめ、気持ちいい……♡

はあっ

はあっ

ガクガク

シロクオ……

ズンズン

もう真城くんったら

あれから毎日のようにしてあげたのよ

また今日も

こんなにくれん出すんだから♡

す、すみませ

す……気持ちよかったです

っ……ビクビクビクッ♡

ガク
ガク

(本当に本当に気持ちよかったです
でもおばあんにチンチンを握られてるの
またすべに勃起してきてまた元気になって……)

でもこんなに出したのに
おちんちんの勃起全然終わらないわね

はあっ

はあっ

もしかしてもっとほいほいなの？

ガクガク

はい、できれば…ですけれど…
おばさんにしてもらおうかなって
増々溜まりやすくなってきたって言うか
以前にもましてムズムズしてきて

そうなんだ♡

おばさんがしてあげるお尻になって

余計にエッチな気分にな

なってきちゃったって事なのかしらね♡

ドキドキドキドキ

ガク
ガク

それならそんな真城くんには
もっとエッチな事をして
スッキリさせてあげる事にしようかしらね♥

はあっ
はあっ

ええっ！
もっとエッチな事ですか？

ドキッ
ドキッ

そっぴん♥
何だと思っ？

何ってそんなの俺には…
ドキドキドキ…♥

それはね、♡♡♡
それじゃあズボンを脱いで
足を開いてみて

そうすれば
真城くんにもわかるから♡

んんん
んんん



途中でやめる事なんて
もうできないわよね
もうこんなにかチかチに
なってるんだもの♥

(ああ、そ、そんなら)

おばさんが俺のチンチンを舐めてくれているしー
まさかこんな事までしてくれるなんてっ！

どおっ
すっくすっくたくて
気持ちがいいっしょ♥

ぬちゅ

ちゅ

ちゅ

じゅっ

フェラチオが嫌いな男の子なんていないから
すっくすっくしてあげるからね♥



はむっ♡

ああっ、そんなおばさんっ！

(んんっすっいい♡
こんなに大きく脹らまして
すっごく興奮しちゃってるわね真城くん♡
やっぱり気持ちいいんだよね♡)

ちゅぽっ
ちゅぽっ

じゅぽっ

ちゅっ

(♡さっしゅんさっしゅんっ！)
せっしゅんせっしゅんっ！)

(んんっすっいい♡
こんなに大きく脹らまして
すっごく興奮しちゃってるわね真城くん♡
やっぱり気持ちいいんだよね♡)

んんっ♥すっごい量の精液ね♥
おばさんのクチ小さいから
こぼれ落ちてきちゃいそうだわ♥

はあはあっおばさん…シキダキダキ

ちゅるん

ビュンッ!

ビュンッ!



どうだった？
これで今日も満足する事が
できたのかしら♡

は、は、は、おのちいよ...
おキスおキスおキス...トクミー

そう、よかったわね♡

♡おキス♡

♡おキス♡

.....

.....



あはははっ♡

私が真城くんの事好きだから
してあげてるのかって？

違う違う♡

そういうのじゃ全然ないんだから♡

(な、なんだ違うのか…)

すくく優しくくくくから

ちよっどはネウウウウの期待していたんだけど…

なんかすくくうめぼれてるみたいで

恥ずかしいな俺…ううっ)

あははっ♡

そ、それじゃあどうして

こんなにも喜んでるのさあすか？

俺なんかのために…

そっよね

やっぱり気になっちゃうわよね

こんな事ばかりしてもらっていたら♥

は、はい...

でもね、そんな理由を聞いたって

そんなたいしたものでも何でもないのよ♥

ただ真城くんを見ていたら

なんだか自分を見ているみたいで

それでほっておけなくてっいつい色々ど

してあげたくなってきちゃったっていうだけの

ものなんだからね♥

自分を見てるみたいって

俺とおばさんが似てるって事なんですか？

そっよ♥

だっておばさんも真城くんみたいだ

ずっと我慢してきたから

真城くんのつらい気持ちかわかっちゃって

それでっいつい色々な事をね♥

話をまとめると

どうやらおぼさんは結婚をして

おじさんとはずっと良好な仲の良い夫婦関係ではあったんだけど
でも夫婦の夜の営みだけはずっと長い事していなかったの
でセックスレスで欲求不満の状態が続いていたという事だった。

そんな時に亜豆の下着に手を付けて

どうしようもなく悶々としている俺を見て

なんだか自分に似た境遇の俺を

夫に満たされない自分と合わせていたらしく

それで俺の事を自分のように不憫に思ったおぼさんは

俺に対してあんなにも優しく接してくれて

俺の性欲処理を手伝ってくれてくれたあの事だった。

そうだったんですか
そんな風に思いながら
今までしてくれていたんですね

(それなのに俺の事好きかもしれないなんて
今さらながらすい〜く恥ずかしくなってきたやうな俺っ!)

でもそれだったら
俺はいいですけど
おばさんおまんこってなにですか??

私??

だっておばさんの事
気持ちよくしてくれる人がいなかったら
おばさんの欲求不満がますます溜まっていらつちやうと
思うんですけど

私は別にいいのよ

だってもうおばさんなんだし

そういう事はもうあきらめちゃってるんだから

そ、そんな事言わないでくださいよ！

おばさんはそんなにキレイなのに

こんなに気持ちのいい事あきらめるとなると

そんなのすぐくもつたいたいですよ！

真城くんと♡

そ、そういう事だったら

おばさんでエッチをする相手がないんだったら

お、俺とセックスしてもいいませんか？

ええっ？

真城くんとおばさんが
セックスしちゃうの？

そ、そうですね

だっておばさんだってずっと我慢するのなんて
辛いだろうし

それに何より俺がおばさんとセックスしたいって
手コキでもらうふうになっちゃったから
ずっと思っていましたから

えっ？

ドキ
ドキ
ドキ
ドキ

それに今だって

フェラチオしてもらってからずっと
チンチンがすごく興奮したままだから
だからもう我慢できなくなっちゃって...

だからお願いします

俺とセックスしてください！

初めてだからうまくできないけど

でも俺おばさんしてみたいから、お願いしますっ！

こんなおばさんとそんなにしてみたいの？
歳なんてすぐく離れているし
きつとガツカリしちゃうわよ、絶対に♥

そ、そんな事はないと思いますっ！
おばさんはすぐキレイだし
それに歳の事だって気にしてませんし！

そおなの？

でも初めての相手は好きな人としていって
よく言うじゃない
だから真城くんは美保としたいとばかり
思っていたんだけど

それはどうですか？

でも亜豆と結婚するまでは
セックスする事ができないから
それなら早くおばさんとしてみたいから

だから、おっお願いしますっ！
一度だけでいいので俺とっ！

もう真城くんったら...

そんなにおばさんになりたいのなら
させてあげるわよ♥

ほっ、本当ですかっ！

ええ本当よ♥

だってそんな風に思わせちゃったのは
おばさんの責任でもあるわけだし
それになによりおばさんも実は
さっきからずっとウズウズしていて
真城くんとセックスしてみたいって思っていたから♥

おばさんもですかっ!!

そりゃ♥

毎日こんなに元気なおちんちんをさわっていたら
おばさんだって色々と考えてしまっただから♥
一応生身の女でもあるわけだからね♥

にぎにぎ

にぎにぎ

はあはあっ、おばさん
だきだきだき...♥

でも本当にいいのね？
初めての相手がおばさんなんかでも

もちろんですよ

おばさんとできるのなら

俺はやく童貞なんで

捨てたいって思ってますから

だから、は、はやくおばさんと
はあはあっ…

グズッ

ガタガタ

ガタ

ソニー

そうよね

このままだとおばさんも真城くんも
辛いままになってしまうから
それなら…♥



(あんっ♥)

や、やだ、私ったら本当におちんちんいれちゃったわ♥
それにすごく大きく感じてきちゃう♥

真城くんのおちんちん大きいとは思っていたけど
ここまで中で広がるだなんて♥)

(きつと久しぶりのセックスだから
膣が縮こまって大きく感じちゃってるのね♥)

ギョッ

ギョッ

はぁ
はぁ

ズ
ズ

はぁはぁっ♥

(でもこの感触すごく久しぶりだわ♥
入れただけなのにもう感じてるなんで♥
あっ♥あっ♥すいっ♥)

はぁ
はぁ

そ、それじゃあ動いていくから
真城くんも一緒に気持ちよくなってるね♥
おばさんなんかじゃ楽しめないかもしれないけど♥

そ、そんな事ないですよー！
もうすぐ！

すぐへ気持ちいいですよー！

すぐくきくく

俺こんなのされたら

またすぐにイッてしまひますよー！

はあ、
はあ、

いっほい

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

本当？またイッちゃいそうなの？
でもゴムをつけているから
イきたくなったら気にせず
いつでも出してもいいんだからね、あつ♥

お、おばさんが動いててあげるから
真城くんはそのまま

はあ、
はあ、

はあはあっ

おばなんっ、そ、そわすっく気持ちいいわっ！

はあはあっ♥

(私も、あんっ、すっく気持ちいいわっ♥
少し動かしたただけなのに
すっく感じてきちちゃっ♥)

ちゅ
ちゅ
ちゅ

ちゅ
ちゅ

ちゅ
ちゅ

ちゅ
ちゅ

はあ
はあ

(いつも真城くんのおちんちんをさわっていたから

すっくアソコが欲情しちゃって

隠れてオナニーしていた時よりも

すっく感じてきちちゃっ♥)

(それにやっぱ)

この子のおちんちんがすっく大きいから

奥の方まで擦れて、あんっ♥あっ♥)

はあ
はあ



なっ、何だこれ、すごい気持ちいいっ！
射精が止まらなくなっただけでまた次々と出てきちゃうっ！
ビュルッ♥ビュルウツ♥ああっ！

(はあはあっ、すごいわこの子っ
オマンコの中でおちんちんがすごい勢いで
跳ねあがってるっ♥
それにすごいカチカチに硬くなってるまで♥)

ビュルッ
ビュルッ

ビュルッ

びゅんっ

はあっ
はあっ

びゅんっ

はあっ
はあっ

(だっ、ダメだわ
腰が勝手に動いてきちゃうわっ♥
オマンコが気持ちよくなりたがっ
もっと欲しがって勝手にっ♥)

はあはあっ、すごいいいわ真城くんっ♥
真城くんのおちんちんすごい硬くて大きくて
おばさんもどんどん気持ちよくなってきちゃって♥

おばさんもうっ♥

あっ♥あっ♥

ズルンッ

ズルンッ
ズルンッ

ズルンッ

ズルンッ

はあっ
はあっ

ちゅっ、ちゅっ

待って下さいいよおばさんっ！
今出したばかりなのに
そんなに激しくされたら！

はあはあっ、おばさんっ、おばさんっ、おばさんっ、おばさんっ！

はあっ
はあっ

あんっ♡だ、ダメなのよ、止まらないのっ！

すごく気持ちがいいから

久しぶりのセックスで

私すごく欲しがっているからっ！

はあっ♡

はあっ♡

だからもうちょっとなんか
ちょうだいっ♡

はあはあっ

真城くんのおちんちんで

私にっ！

じゅぽ
ほっ

じゅぽ
ほっ

びびっ

はあはあっ

おばさんっ俺また出ちゃっようっ！

出したばかりなのにまたすぐっ！

じゅぽ
ほっ
じゅぽ
ほっ

めっ！

はあっ♡

はあっ♡

ドキドキドキ……♡

はあはあ、それに
2回出しただけなのに
ゴムがすごい大きさに膨らんじゃって……♡

やっぱり気持ち良かったから
量も増えていつちやうんですかね♡

はあっ
はあっ

スリ
ドロ……

あん、本当ね♡
すごい膨らんじゃって♡

アアアアアアアアアア……♡

たっ30

たっ30

でも真城くんのおちんちん
まだまだすごい勃起してるわよ♥
もしかしてまだ出したりないの？
さっきからもう4回は出してるんだけど♥

はあっ♥

はあっ♥

そうですね
まだちよつとだけ
出したりない感じはありますけど

そ、そう、なんだ♥
ドキドキドキ…♥

(こんなにたくさん出して
そんなに気持ちよかったんだ
真城くんも♥)

(オバサンの体なんかで
反応してくれないかもって思っていたけど
良かったわ喜んでもらえて♥
ドキドキドキ♥)

はあっ
はあっ

ガチッ

ビィ
ビィ

はあっ♡
はあっ♡

ね、ねえ真城くん
そんなに出したりないって思っているのなら
今度は自分からしてみよう。
お婆さんはじつとしてあげるか？♡

え？いいいいんですか
2回もしてもらうなんて！

はあっ
はあっ

ガクッ

だってこのままじゃ
真城くん終われそうにないみたいだし
それにお婆さんも続きをしてみたいから

だからね、あともう少しだけ♡

ビーン
ビーン

まさかおばさんと

こんな事になってしまっなんて思いもしなかった。

ダメ元でおばさんに

セックスのお願いをしてみたんだけど

おばさんにも色々と事情があったみたいで

俺のひそかに思っていた夢がこうして叶う事になったのだった。

ず
ず
ず

ず
ず
ず

あ
あ

そして成り行き任せのセックスだったけど
でも後悔だけは微塵もしていなかった。

初めてのセックスだけは亜豆としたいと
ずっと思ってきたけど

今の俺は眼の前にいる魅力的なおばさんの体で
気持ちのいい射精をする事しか考える事が
できなくなっていたからだった。

あめっ、おぼちゃん
せしほおぼっちゃんに抱きつかうとどおぼちゃんー
おっちゃんに
見せるだけおっちゃんに

俺っちゃんに抱きつかうとどおぼちゃんー
おっちゃんに

はあっ
はあっ

ぐちゃ
ぐちゃ

ニヤニヤ

はあはあっ、おぼちゃんもあつっ♡
おぼちゃんもこんな事してあげるの
すごく久しぶりだから
すぐぐちゃぐちゃしてさっさと
いつもよりもすく
感じてるんだから！

ぐちゃ
ぐちゃ

だからね今は二人で
いっぱい楽しみましょ♡
今まで我慢してきた分を
全部忘れちゃうぐらいにね♡

ぎゅっ♡

はあっ
はあっ

はあはあっ、おぼちゃんっー！

グチユグチユグチユグチユツ！

はあはあっ、おばさんっ！おばさんっ！

(あんっすっすっすっ！)

真城くんのおちんちんがどんどん速くなってきてるっ！
初めてするセックスのはずなのに

何度も射精してるはずなのに

真城くんこんなに激しくされてっ！)

ミ
ち
や
っ

あんっ、真城くん気持ちいいっ！

真城くんっ♡

ミ
ち
や
っ
あ
ん
っ
あ
ん
っ

はあはあっ♥気持ちいいよおばちゃんのおまんこ♥

おまんこ気持ちよすぎると俺っ俺っ!!

ずいっ
ずいっ
ぼっ

ちゅっ

くっ

しゅっ

ちゅっ

あんっ真城くんっ
また奥まで届いてっ!

はあっ
はあっ

こんな事本当はしてちゃいけないのにっ
おばさんまたイキたくなってきたやうっ♥
真城くんのおちんちんでまたっ!

ちゅっ

あっ

あっ

あんっイクらイツちやうっ!
おばさんのおまんこまたっ

あんっ真城くんっすごく気持ちいいっ♡
もっとなんっ♡もっとなんっ♡えっ♡

もじやじのまま

激しくしてもいらからっー

ずんずんっ
ずんずんっ

ちゅっ

真城くんっ！

ぐっ

ちゅっ

はあっ
はあっ

あめあめっ♡

んんんん

おばさんはする前に

あと少しだけって言うていたけど

でもおばさんの発するとても艶めかしくて
とても色っぽい声に興奮してしまった俺は
結局このまま4回も射精する事になった。

めっ
めっ

ああっ、はあはあっ、セックスしすぎて
俺チンチンがすぐくっくびれちゃってますよ
はあはあっ ♡

おばさんもよ ♡
体中が熱くてすぐくっくびれちゃってますよ ♡

でももうそろそろ終わりにしましょうか
随分長い事していたんだし ♡

……んんんん……むむむむ……んんんん……

ずい

(うわっ、俺またこんなに出しちゃってるー！
それにチンチンもまだこんなにも勃起して…！)

びび

(でもさすがにもはやめておくれ…)

あんまりしつこくよ

おばさんに嫌われちゃうかもしれないからな…！)

(それにこんな気持ちのいいセックスをさせてもらったんだから
もう何も残り残すこともないし
おばさんもセックスしてくれるのは一回だけって言うていたし
だからおばさんとはもう二度…！)

でもそんな考えはすぐにくっくつがえる事になった。

若い男の俺が

いや特に性欲の強い俺が

おばさんとの1回のセックスぐらいで

満足できるわけがなかったのだ。

あっ♡
あっ♡

はあ、
はあ、

いくらおばさんが優しくても

おばさんにも事情があったとはいえ

おばさんとの男女の二線を越えてしまい

セックスの味を覚えてしまった俺は

その日からはもう歯止めがきかなくなってしまう

ぱんっ
ぱんっ

まるで盛りりのついた動物のようになって

おばさんの体を

何度もお願いしては

求め続けていくようになっていたのだった。

おばさんはこういう事はあまりしない方がいいだなんて
初めは言っていたけど
でも欲求不満で疼いた体を持って余っていたおばさんもまた

自分の欲望には抗う事ができずに
俺と何度かセックスをしていくうちに
次第に吹っ切れていって

今では二人してセックスをするためだけに
亜豆のいない時間を意図的に造っては
セックスをどん欲に
楽しむようになっていたのであった。

はぁっ
はぁっ

ムリ
ムリ

はぁっ
はぁっ
はぁっ



はあはあ、いびきをかいてのオマンコ
今日もおまんこが気持ちいいわー

こんなに気持ちいい事
覚えちゃたら
俺ももう元に戻る事なんてっ！

おっ、おばさんもよ♥

はあ、
はあ、

はあ、
はあ、

真城くんったら
どんどん上手になって来るから
こんな事続けていちゃいけないって
思っただけでも
またしたくなっちゃったわー...

ちゅ
ちゅ
ちゅ
ちゅ
ちゅ
ちゅ



あんっすいっしょー！
そ、そんなに激しくされたら
おばさんもうっ！

はあっ
はあっ

はあはあっ、俺も出したいっ！
今日もおばさんとのセックスで
いっぱいっ！

グチユグチユグチユツ！

ムリ
ムリッ

はあっ
はあっ

あんだめっ、イッちゃっ！
おばさんのオマンコがっ！

ムチッ
ムチッ
ムチッ

ムチッ

ムチッ



あめいぼむわのJOENEENー

あんっイクッ
真城くんっ!

あめあしっっっっっ♡

ビクッ



はあはあ、でもいいの？
大事な日におばさんと
こんな事なんてしてて

今日は美保と
デートに行く日じゃ
なかったの？

はあっ
はあっ

ムリ
ムリ

おっ
おっ

♡
♡
♡

そ、そっですけど
でも俺、今はおばさんと
セックスをしている方が
すごく楽しいから
亜豆には悪いけど別にならなくて

おばさんとこんな
気持ちのいいセックスができて
いっぱい射精できるなら
デートなんていつだって

それにそんな事言ってるおばさんだして……

あんっ、真城くんっ！

ぐんぐん

ナツキからずっと
こんなにもグチヨグチヨに
お濡らじして居るじゃないですか♥

おばさんだって
僕がデートに行くよりも
一緒にセックスしていた方がいいって
思ってるんじゃないですか？

ちゅちゅ

ぬちゅ

ぬちゅ

ぬちゅ

だっだって
真城くんのおちんちんがすごいから
いけないのよ
おばさんをこんなにセックスに
夢中にさせるから♥

ああっ♥

本当ですか？

そんなに俺のおちんちん

気に入ってくれてたんですか？はあはあ♥

それなら俺のおちんちんをシゴいたり
しゃぶったりしてくれていた時は
どんな事を考えながらしていたんですか？

欲求不満のおばさんの事だから
毎日オナニーしながら
自分で慰めていたんですか？

こんな風に勃起させたクリを
いじりながら♥
グチュグチュグチュ♥

アンツ、そ、そうよっ♥
毎日オナニーして慰めていたんだから
誰もしてくれないから自分で…

はあ
はあ

ぴく
ぴく

あっ

あっ

ぬ
ちゅ

ぬ
ちゅ

ぬ
ちゅ

ぴく
ぴく

はあはあっ、そうだったんだ

そんなエロい事をしながら毎日俺のおちんちんを、ちゅぱちゅぱ

あんっ、いっイヤっ、そんなに顔を近づけないでよ
若い子に見せるようなものじゃないんだから！

はっはっはっ

そんな事ないですよ
他の人の見た事はないですけど
でもおばさんの「ニ」す「く」キレイだと思いますよ
はあっはあっ

それにおばさんの「ニ」
いつもは香水で
す「く」いい匂いをさせているの「こ」
こだけは全然違う匂いがして

びんっ

びんっ
びんっ

トロトロ...

これがおばさんのオマシ「ン」なんですね
これが大人の女性の「...」チュパチュパッ

あああいやあ、そんな事クチに出さないでったら
夫にだって舐められた事がないの「こ」...
はあはあっ、そ、そんなにいやらしく舐められたら
ま、またすぐにイッちゃうんだからっ、身体が熱くなっつて、もっもっっ！

はあはあっ、すげーっ
おばさんがイッてるの

俺に舐められて

しかもこんなにビクビク痙攣させて……
ドキドキドキ

アッ
アッ
アッ

俺はものすごく興奮していた。
男が感じてるかどうかは見ればすぐわかるけど
女性の場合は演技なのかどうかよくわからない。

びくっ
びくっ

びく
びく

びく
びく

びく
びく

びく
びく

でもおばさんのオマンコからは
とろとろと粘着質の汁が次々とあふれ出し
そして目で見てわかるほどオマンコをビクつかせて
感じていたから

俺は男としての優越感に満たされながら
またひどく勃起させてチンチンを痛くなるほど
振り返らせていたのだった。

はあはあっ、おばさん

俺またこんなになっちゃうましたよ

おばさんのヒロイオマンソのせいじゃうんなに♥

はあ
はあ

ねえいいですか、また挿れても
またおばさんのこころを使って射精したいから♥

いいいわよ、入れてちょうだい♥
おばさんもすぐく欲しいから♥

ドキ
ドキ
ドキ

ひく
ひく

ひく
ひく

だからまたさつきみたい
真城くんのおちんちんで
イかせてちょうだいね♥

ひく
ひく

いいですよ

何度だっておばさんのオマンソを

イかせてあげますから♥

ずんずんずん

んんんんん

んんんんん

んんん

あんっ、真城くんっ！
あはああっ♡

真城くんっ！

んんんんん

ああっやっばじすいっ！
ホント気持ちいいですよお婆さん！
お婆さんとのセックス
気持ちよすぎてやめられませんかよ俺っ！

こんなに気持ちのいい事なんて俺知らないから
だから本当に何度だってっ！
はあはあっ、お婆さんっお婆さんっお婆さんっお婆さんっ！

(あんっ、すすっ)いいわっ♥
また激しく求められちゃってるっ♥
真城くんは美保の大事な彼氏なのに
それなのに私こんな何度もされてしまっ……)

(じ)めんなさいね美保
一度きりのセックスのはずだったのに
またこんな事ばかりして……)

たぶん

びるん

ぐちゃっ
ぐちゃっ
ぐちゃっ

あんっ
あっ

(はあはあ)
でもすい〜気持ちがいいからっ……
真城くのおちんちんすい〜大きくて
気持ちがいいから)

(だから私やめられなく……
だから……)

はあはあっ、いっしょにやるとはあはあっ
俺何度だっしてしちゃいませぬかあー
おばさんの気持ちのいっしょにやるとはあはあ
何度だっしてっ！

あはっ
あはっ
あはっ

あはっあはっあはっあはっ
あはっあはっあはっあはっ

あはっ
あはっ
あはっ

あはっ
あはっ
あはっ

あはっ
あはっ
あはっ

あはっ
あはっ
あはっ

あはっあはっあはっ
来てえっ、もっとよっ
もっと真城くんのおちんちんで
激しくっ！

あああっ、おばおんっイクっ！

ずぼっ

俺おばさんのオマンコでっー

ずびっ
びっ
びっ

びびっ

びびっ

あああんっ、わっ、私もよっ♡
私も一緒っ！



おばさんとセックスを初めてから1カ月が経とうとしていた。
あれから毎日のようにおばさんとセックスをしているけど
一向に飽きる気配がない。
それどころかセックスの回数が増していくばかりだった。

そしてセックスの回数が増えていくのと
反比例するかのようにして
亜豆に対する後ろめたさや罪悪感が

だんだんと薄くなっていき
今ではもう跡形もないほど
気にしなくなっていたのだった。

性欲を持って余した若い男が
初めてする肉欲的なセックスを
しているのだから

それは仕方がないことかもしれない。

じゅぽっ
ちゅっ

ぽっ
ちゅっ

はあっ
はあっ

たぶん

でもおばさんとのそんな不謹慎なセックスにのめりこんでいくうちにセックスだけではなくおばさんに対する俺の気持ちにさえも少しづつ変化をもたらす事になっていたのだった。

じゅぽっ
ちゅっ
ちゅっ

俺の情けなさや欲望を全部呑み込んでくれるおばさんの包容力と初めて触れる事ができた大人の女性の魅力的なその身体に俺は知らず知らずのうちに魅せられていき

はあっ
はあっ
そして自分でも気がつかないうちに
おばさんそのものに
惹かれていく事になっていたのだった。

たぶん

はあはあっ、おばさんのオマンコも気持ちよすぎたよ
とろけちゃうほどよわわ

こんなにしてるのに、ますます気持ちよくなって
俺おばさんのオマンコ」の事は、ばかり考えちゃって！

ずぶっ
ずぶっ
ちゅっ
ちゅっ

じゅるっ
じゅるっ

あんっ、おばさんもどうにかなっちゃうぞういっ
真城くんのおちんちんが、気持ちよすぎた
今にも腰が砕けちゃうぞういっ！

そんなにおばさんの好きな所ばかり
責めてくれたら
おばさんもうっ！

あはああっ、イクううっ
イクイクイクっ！

はあっ
はあっ
イクううっ

じゅるんっ

じゅるんっ

イクンイクンっ

ああっすごいっおばさんのオマンコ
またすごい力で締め付けてきてるっ！
俺のチンチンをがっちり啜えこんで
全部呑み込もうとしてっ！

じゅぽっ
ちゅっ

ちゅ
ちゅっ

ぽっ
ちゅっ

だ、だって真城くんが
おばさんのオマンコをエッチな気分に変えるから
勝手にアソコが感じてさっじゅっちゅっんだから！

中年のおバサンの身体なんか夢中になって
こんなにするからっ！

はあっ
はあっ
でも、あああっ気持ちいいわっ♥
そんなに元気なおちんちんで
毎日責められたらもうっ！

ぽっ
ぽっ

ぽっ
ぽっ



あんっイッちゃっうっ♡

おまんこすべっりっ♡

イクっうっうっ♡♡♡♡♡

ぐんぐん
びん
びん

あめめめっ♡♡

びん
びん♡

びん♡

はあはあっ、だ、ダメえっ…ビクビクビクッ♥♥♥
おまんこが恥ずかしいくらい喜んでちゃってさっ♥♥♥

はあはあっ、おまんこが勝手にビクビクして
ああっすっ、く気持ちいいわぁっ…
はあはあっ、はあっ♥

ビクビク

ビク
ビク
ビク

ビク
ビク♥

お、俺もまたいっばい出しちゃって
なんでこんなに気持ちがいいんだろう
出しても出してもまたすぐに勃起しちゃって

コンドームだって
またこんなに膨らんじゃって
ビクビクビクッ♥

はあっ
はあっ

たぶん

ほ、本当よね

おばさん真城くんにかかされてばかりなんだもの
本当にすごいおちんちんをしてるわよね

真城くんは♡

そんな事ないですよ

だっておばさんの体がすごくキレイでエロいから
俺自分でもびっくりするくらい興奮しちゃって

だからあんなにも頑張れちゃうから

やだ、こんなオバサン捕まえて

お世辞なんてよしてよ

逆に恥ずかしくなってきたわ♡

そんなお世辞なんかではないですよ
亜豆のお母さんだけあって
すごく美人だしキレイだし

はあっ
はあっ

男だったら誰だって
その思いはありますよ、かっ

たぶん

ビクビク

ビクビク♡

そっかじい...

でも若い真城くんこそっか言ってもおんない

おばさんもなんだか嬉しくなってきたわね

夫にも相手にしてもらえなくなつて
女として自信を無くしていたから
特にそっかいう言葉にはね

ありがとうね真城くん



おーびきア
おーいおはあ、おーい

(あれ？なんだろ今の感覚
おばさんにキスをされたら
なんだがすい〜変な気持ちになってきちゃった…)

キキキ

キキキ

キキキ

キキキ

(体中がムズムズするような
落ち着かない変な感じがして…
それと胸たたくようにムズムズして…)

(うざい〜ムズムズ…)

どうしたの真城くん
急にほっけちゃったりして

え、な、何でもないですよ
ただちよつと
おばさんにキスしてもらったら
またおちんちんが大きくなってきちゃって

もう、真城くんったら
ほんと見境がないんだから♡



いいわ♥
そんなに出したりないのなら
今度はおばさんのおっぱいを使って
抜いてあげるわね♥

はあはあ、おっぱいっ♥

おっぱい
うん

びん

どおかしら
おっぱいには結構自信があるから
真城くんにも
気に入ってもらえると思うんだけど
ちゃんと気持ちよくオナセてあげる事ができるかしらね♥

そ、そんなの出来るに決まってるじゃありませんか！
す、しく柔らかいのおちんちんを
ギュッと握られてみたいで

こんな俺すべくでもイッてしまえんぞよ

ふふふ、ほんどね

目もソフトロンとしてやるね

やっぱり男の子は
大きいおっぱいが好きだものね
ふふふ、いいわよ
イキたくなったらいつでもかまわないから
好きな時に射精していいからね
おぼさんがもっとエッチに
真城くんのおちんちんシゴいてあげると
残さず全部出し切るんだからね

わかった？



はあはあっ、ああっ、おばさんっ！
気持ちいいいっ！っ！っ！
ブルブルブルルルっ！っ！

あんっすっ！っ！っ！っ！
真城くんのおちんちん
こんなにも飛ばしちゃってめわめ
おばさんの顔までこんなじっ！っ！っ！

ミドロオオオ...

びん

びん

ブルブル

真城くんの元気なザーメンで
おばさんベトベトになってしまったわね

まさかこんなになってしまっなんて
もう本当に元気な
おちんちんだから
真城くんは

びん

(はあはあっ、うっ、すごくエロカワいいい……♥
おばさんのキレイな顔が俺のザーメンで
こんなにも汚れちゃってる……はあはあっ……♥)

(それにチンポだってすげえキレキレして……♥)

ブルツ

(はあはあっ、だ、ダメだ！
おばさんにしてもらおうとチンチンが
どんどんおかしくなってるきちゃうよ
今出したばかりなのに
またこんな「ドンドン」に勃起してきて……)
ビクビクビクッ♥

(もっとおばさんなきゅー！
おばさんとセックスして
もっと気持ちのいい射精を！)

んん



あのおばさんっ！
またおばさんとセックスさせてもらっても
いいですかっ！

あんっやだっ
ちよっ、ちよっと
真城くんっ！

またムラムラしてきたから
すぐにもおばさんと
セックスがしたいからっ！
だからまたっ！

ええっ!!
だ、だって今出したばかりなのに
もうしちゃっの？

だって本当に今すぐしたいからっ！

あんっ、また真城くんのおちんちんが
オマンコに入ってっ！
あああっ真城くんったらっ！

(はあはあっ、ダメですごく興奮してきちやうっ！
またおばさんとすぐにヤリたくなってきちやうっ！)

スボッ
スボッ
スボッ

グビュッ

グビュッ

グボッ

(おばさんのザーメンのかかった
うっとりした顔を見てたら俺
チンチンがまた勃起してきてっ！)

あっ
あっ

はあはあっ、おばさんっ！
おばさんっ！

あんすごいっ!
真城くんったらまたそんなにおちんちん
元気にさせてっ!

そ、そんなに激しく後ろから突かれたら

スポッ
スポッ
スポッ

グビュッ

ツツ

グビュッ

ああっ、また当たってるっ!

真城くんのおちんちんで
おぼさんのオマンコっ!

ぎゅむっ

真城くんっ、真城くんうっ♥

あっ
あっ

はあはあっ、おぼさんイクっ!
おっ、俺もっ!

お婆さんの思いがけない

突然のなんてことはないただの頬っぺたへの
軽いお礼のキスだったけど

でもそのお婆さんの行為が

俺をだんだんとお婆さんへと意識をせしめて
自分でもこれは恋のようなモノではなからかど
思うようになっていった。

初めは童貞だった俺にセックスを教えてくれて
色んなエッチな事をさせてくれるから

だからそんなおばさんに
惹かれているだけなのかもしれないとも思ったけど

はあ
はあ

でもおばさんに体を触られるたびに
すーんてドキドキしてしま

ん
ん

ん
ん

ん
ん
ん

俺はおばさんの事を一人の恋愛対象の女性として
意識している事に気づいたのだった。

(ああっ、なんだろうこれ
アソコの感覚が以前とは全然違う！)

はあっ
はあっ

(おばさんにシッコがねてるのって悪い
それだけイッてしまいたいので
すくく気持ちがいいっ♡)

(「だっっっっ」)

ふっふっ♡

んんん

んんん

んんん

んんん

(でもまさか俺がおばさんの事を
好きになるなんて本当にありえるのか？
俺の母親の年齢とそんなにかわらないのに…)

(「だっっっ」)

ふふふ、そうなんだ♥
真城くんのおちんちん
すごく大きくて握りやすいから
つついっ色んな所をさわってしまっただけど

それがいけなかったのかしらね♥
グリグリグリ♥

ああんっ、おぼオオっ♥

ビーン
ビーン

それにしても
そんなにトロロンとした目をして
顔まで赤くして
まるで風邪でも引いたみたいになってるけど
大丈夫なの？

そ、それはその

俺すごく気持ちいいから

なんだかすごく

熱っぽくなっただけなんですけど

はあはあっ♥

アチャ

アチャ

アチャ

ビーン

ビーン
ビーン

そおっ？
それなら別にいいんだけど♥

.....
あ、あのおおばん...

はあ、

はあ、

なあに？

あの一度だけでいいんですけど
この前みたいにキスをしながら
してもらってもいいですか？

え？キス？

ガクガク

ビクビク

グワッ

グワッ

グワッ

ビクビク

はい

そういうやつをエッチな動画で

見た事があるので

だからおばんにしてもらえたらいいなあって

思ってたんですけど

だ、ダメですか？

別にダメじゃないけど
でもいいの？

おばさんなんかキスなんてしちゃっても

はあ
はあ

だって初体験どころか
ファーストキスまで奪っちゃったら
真城くんにも美保にもなんだか悪いから

そ、そんな事ないですよ
ああっ♡

あっ、あまりそういうのは

気にしないたちですから

それに亜豆に内緒にしていれば

ばれないだろうから

だからおばさんに…ハアハアッ

ヌチャ

ヌチャ

ヌチャ

ビーン

ビーン

ビーン

ビーン

そうなんだ

それならお婆さんのキスでよければ
してあげてもいいんだけど

でもなんだか気恥ずかしいわね
あれだけセックスしてきたのに
今更キスをするだなんて♥

ガクガク

ビクビク

グワッ

グワッ
グワッ

ビクビク

ふふっ♥

でも真城くんには
何度も気持ちよくしてもらっているから
お婆さんも頑張って
気持ちよくしてあげなきゃ
いけないわよね♥

それじゃあキスがしやすいように
顔をこっちに向けてくれる?!

はいはい……フキッフキッ

それとクチも開けながら
舌もすこしだけ……

(んっ♥あぁっ、おっ、おばさんのキスっ♥
おばさんの顔がこんな近くにっ！)

(おめめあっ、おばさんの体温がいっぱい
胸のめくせろがすっく感じらるっ
す、すっく興奮ちゅるっ！)

ちゅるっ

ぬちゅ

ぬちゅ

ぬちゅ

ぬちゅ

ぬちゅ
ぬちゅ

(やっぱり俺おばさんの事が好きなんだ
キスされただけなのにこんなにくっついて
チンチンも脳ミソも
トロトロに濡らしてっまじっ
今にも俺…っキスっキスっキスっ！)

もう、真城くんだったら興奮しすぎよ♥

鼻息が荒くて

すぐくすぐりたいんだから♥

じゅる

ちゅむ

はあはあっ、だ、だっっておばさんのキスが
すぐくエッチでドキドキしてきちやうから♥

もうまた変な事言っ

こんなおばさんのキスぐらいで

んっ、ちゅぱちゅぱ♥

大げさなんだから真城くんは♥

ちゅるる

んっ

んっ

んっ

いいわ♥

そんなに気に入ってくれたのなら

いっぱいエッチなキス

してあげるからね♥

ほら、真城くんも舌を

もって出してごらん

いつもおちんちんを舐めてあげてる時みたいに

おばさんがいっぱいエッチなキスしてあげるから♥

んっ

あんすすい♥
おちんちんから
いっぱい吹き出しちゃってさわるわ♥

はあ、
はあ、

おばあんのキスで
おちんちんもいっぱい♥

ガク
ガク

はあはあっ、うめめっ！
チンポ気持ちいいっ♥♥♥

びゅ
びゅ
びゅ

ワ
キ
ユ

ワ
キ
ユ
ワ
キ
ユ

尿道が、すっ、すっ、すっ、くぐくぐくぐしますっ♥
お、俺もっっ！
ビュルルッ！ビュルルッ！

めめめっっっ♥♥♥

うめめあつ、おばさんっ、俺っ、俺っ！

はあ、
はあ、

ドキ
ドキ

ドキ
ドキ

ドキ
ドキ

ビーン

ビーン
ビーン

ビーン
ビーン

ビーン
ビーン

あん、本当にすごいわね♥
真城くんのおちんちんが
こんなにも喜んじゃってる♥

そんなにキスをしてもらいながら
されるのが好きだったのね
真城くんは♥



ふふふ♥

それじゃあウォーミングアップは

このくらいにして

そろそろ今日のセックスを

初めちゃいましょうか♥

今日も美保が帰ってくるギリギリまで
たっぷりとやりましょうね♥
ね、真城くん♥

ガクガク

ふふっ♥

グッ

グッ


グッ

ビクビク

ビクビク

あーあーあー





それから俺は時間を造っては
おぼさんの目のくらむようなセックスプレイを続けていき
そしてさらにズブズブと
おぼさんの魅力の虜へとなっていていったのだった。

おぼろぐんせツクスをすするおんじなつてから
50日が経つていいたまる日の日曜日

バァン

うん、わかった

あ、香耶から電話が来たから
ちよつとだけ待っててね
席外すから

プルルル♪

プルルル♪

ありがとうお母さん

はぁ、い、お飲み物をもってきたわよ♡

もう、あの子だったらせわしないわねえ
せつかくジューズを持ってきてあげたのに

そ、そっですわね
声優を目指してがんばってるみたいだし
伽耶にも色々相談とか
してるみたいですわからね

アキラさん

そうなの？
夢に向かって
頑張ってるのならいいんだけど



それで？真城くんはどっなの？
あの子とはうまくやれてるの？

それは「まあ」応…
おばさんに色々とお世話になってますから
前よりは落ち着いて付きあえてるって言うか
順調にはいってると思えます…たぶん

ふふふ、そっゆね♥
もうムラムラして
下着に手を付けようか悩まなくても
済むんですものね♥

ハハハ、そっゆね…

.....

でも最近は何でいうか
前よりも里豆の事を考えなくなってきたっていうか
その代わりについてわけではないんですけど
その…

今はおばさんの事ばかり
気になるようになってっ…

え？私の事を？



はい…
ドキドキドキ…

それでひょっとしたらなんですけど
俺おばさんの事好きになっちゃったのかなって
思ったりしてるんですけど…

や、やだ真城くんだったら
急に何を言うのかと思ったら
変な事言わないでよ

だって真城くんには美保がいるじゃないの
美保と将来結婚するために
漫画家を目指して
付き合っているんでしょ？

それなのにこんなおばさんの事を
気にかけてるだなんて
冗談も休み休みにしてくれないと…



じよ、冗談なんかでこんな事言ったりしませんよ！
さっきだってずっと亜豆と話していたのに
お婆さんの事ばかり考えてしまっ

それに今だって
お婆さんが入ってきた途端に
心臓だってすぐドキドキしてきて

それにお婆さんの姿を見てたら
俺のアソコだっていつもみたい
にすぐ元気になってしまっ
てその証拠にほら



もう「ん」な

ポロ

や、やだっ真城くんったら
冗談はやめてよっ！
はやくそんなもの
しまってちょうだい！

もしも美保が戻ってきたら
どっどっするのよ！

だっっておばさんが俺の言う事
全然信じてくれないから！

俺は本気なんですよ！
おばさんの事だってもうずっと前から
一人で悩んでいて
だから勇気を出しておばさんに打ち明けたのに
それなのにおばさんがっ！

どうしたの？
二人でそんなに大きな声を出したりして

何をしているの？

ひゅー！

ズル
ズル

あーお尻、め
ずかしいー

ズル
ズル
ズル



一日同時刻

カー
カー



はあはあっ、でもあの時言った俺の気持ちは
本気だったんですからね
おばさんに何と言われようと
俺はやっぱりおばさんの事

そうだったのね

まさか真城くんがそんな風に
おばさんの事を
考えてくれていたなんてね♡

でもいつから年増フェチになっちゃったの？
こんなに歳の離れたおばさんなんかを相手に
本気になったりして♡

そんな歳なんて関係ないですよ！

じゅわ

ニク
ニク
ニク

おばさんはすごく優しいしキレイだし
だから俺はおばさんの事を…

ふる

ふる

もう真城くんだったら
まだ若いのに
また変な事ばかり言うんだから♥

そんな変な事だなんて
俺は本当におばさんの事を…
ドキドキドキ…♥

ふんふん♥

ふる

ふる

じわあ

ニクニク

ニクニク

ニクニク



でもね、そんな風に言ってくれてる
真城くんだけと
本当はうすうすと
自分でも気づいているんじゃないの？

真城くんは
ただエッチな事をしてくれる
女性が欲しかっただけで
別におばさんじゃなくても

こんなふうにしてくれるなら
他の誰でも良かったって事にね

だからこんなにも歳の離れたおばさんを相手に
あんななどんでもない事を
言ったりできると思うんだけど♥

はあはあっ、そ、そんな事はないですよ
おっ、俺は本当におばさんの事を…っつて

あっ、や、ヤバイっもうHENっ！





じゅわんじゅわん

あ
あ
あ
あ
あ

あ
あ
あ
あ
あ

ああっ、おばさんっ！

ドクドクドクッ♡ドムルルウッ♡

だったらおばさんと

こんなにエッチな関係にならなくても

おばさんの事好きになつていたの？

ズルッ

おばさんがこんな事してあげなかつたら
おばさんの事なんて好きになつたりなんて
していなかったでしょ？

絶対に♡

そんざいはそつかもしれないけど
でも…

ズルッ

ズルッ

だからね

真城くんはこんなおばさんなんかを相手に

本気になってちやいけないのよ♡

それに娘の彼氏を寝取るだなんて

母親として絶対にできない事だからね♡

だから真城くんの気持ちは
すごく嬉しいけど

その気持ちには

応えてあげる事はできそうにないから

これからも美保の事を

一番に考えてあげてちょうだいね♥

そうすれば真城くんにとっても

一番いい選択になるはずだからね♥

はあはあっ、そっ、そうなんですか

やっぱり俺なんか

お婆さんの相手なんて…

(そりゃそうだよな)

こんなに歳の離れた俺なんて

お婆さんと釣り合うわけないし

告白したところでどうにかなるだなんて

最初っから無理だったんだよな、きつと…

ふる

ふる

ふる
ふる
ふる

でもね、真城くんの気持ちには
応えてあげられないけど
だからといってすく
お別れするって事にはならないのよ♥

これからも真城くんとは
長いお付き合いになりそうだから
この関係はずっと続けていく事が
できるかもしれないからね♥

え？

「これからもですか？」

「もちろん♥」

「やっ
ぱり♥」

「るん
るん」

だって美保と結婚する事になったら
おばさんは義理の母親になるわけだから
これからもずっと真城くんとは
一緒にいられるわけだし

それになにより……

「んんん」

あっ、おばさんっ！

こんなに素敵なおちんちんを持つてる
真城くんとお別れするだなんて
チユパチユパッ

おばさんには当分でききょうもないから
だからこのエッチな関係は
当分の間はずっと♥

（あぁっ、すっすっすいっしー！）

おばさんの舌がチンポに絡みついて
すごい勢いでしゃぶられたちゃっしー
それにそんなに見つめられながら
激しくしゃぶられたらもうっしー！





ザーメンの汁が……
うめうめ……

……
……
……

……
……
……

(んんう♡やっぱりすごい♡
今日もすごいコッテリなのが出てる♡
真城くんの真う白いネバネバのザーメンが
今日も元気に私のクチの中に♡)

あああっ、おばさんっすごいっ

そんなに強く吸い付かれたら
残りのザーメン
全部吸い取られちゃうっ！

イクイク♡

ブルブル♡

ムクムク

あああっ〜っ♡♡♡

ムクムク

ムクムク



んふう♥ちゅぽっー
今日も青臭さが鼻に突き抜けて
すっぴん♥キアキア♥

はあはあっ、おぼたっ

（めめあっ、えっ、ヒロっ♥
そんなにカワイイ顔をしてじゃぶられたら
ますます好きになってきちゃうじゃないかっ！）
ビクビクビクッ♥

んふう♥いっくん♥

じゅるん

じゅるん

ムクムク

びく
びく
びく



そんなんですかね...ムキムキムキ
そういう事なら俺
おぼろんの事はあきらめて
亜豆と結婚しようと思いますー!

そうよかったわ
真城くんは物わかりがよくて
そうすればだれも傷ついたりなんて
しないからね♥

だから美保の事をこれからも
ずっと大事にしてあげてね♥
真城くん♥

ふる

ふる

ムニ
ムニ
ムニ

は、はいー!

(娘の事を思いながらも
ちやっかり自分の欲望も満たしているところだなんて
ほんとはぶっ飛んだ事考えるよな
このおばさんは♡)

(でもおばさんって「ながら」も一緒で
こんな関係が続けらるのなる
俺は「の」ままですって...)



ほら、そつどなれば
続きのセックスを楽しみましょう♥

おばさんもさつきからずっと
ウズウズしっぱなしで
はやく入れてしてほしくて
たまらなかつたんだからね♥

じゅく♥

〜M
〜M♥

きゃっ♥

「ううホントだ、おばさんのオマンコ
よだれですでにタラタラになってますね
俺のチンチンをしゃぶって
こんなにも興奮しちゃったんですか？」

ねえ、もう我慢できないから
早くおちんちんを入れてちょうだいよ♥
今日だけは特別に
ナマでさせてあげるから
そのままはやく♥

えっ、いいんですか！

いいわよ♥

だって真城くんがせっかくなおばさんに
想いを伝えてくれたんですもの

おばさんなりに少しでも

その気持ちに

応えてあげようかと思ってるんだけど♥

しゃぶ

ドキ
ドキ
ドキ

ごお？
おばさんとナマで
してみたくない？

も、もちろんしたいですよー！

ふふふ、それなら二人で楽しみましょ
ゴムなしの本物のセックスでね♥

あああっ、気持ちいいっ！
めっちゃザーメンが吐くへんっ！
おばさんのオマンコに俺っ！

ズ
ポ
ツ

ニク
ニク

グ
グ
グ

ズ
ズ
ズ

はああっ、わかるわよ
真城くんのザーメンが流れてくるのが
でも1回なんかじゃ終わらないんでしょ？

続けて出していいのよ
おばさんのオマンコで感じて
もっとおまんこの中に
真城くんのおちんちんで奥までっ！

ズ
ズ
ズ

はあはあっ、おぼえんっ、おぼえんっ！

あんっ、そうよっ！

激しいのが好きなのっ！

真城くんのおちんちんをもっと感じたいから

ビュッ
ビュッ
ビュッ

ビュッ
ビュッ
ビュッ

真城くんの生チンポで
おぼえんのオマンコ
ズポズポって
激しくいっぱいかき回してっ！

奥までおちんちんでっ！

あああっ、おぼえん、気持ちいいっ！
何度だって出さなきゃっ！
おぼえんのおまんこにまた俺っ！

亜豆が帰ってくる時間だから
いつもならここで切り上げるはずなんだけど
でも俺はもっと中出しセックスがしたくて
おばさんも俺とセックスがしたくて
だからその続きをするためにその勢いのまま
俺達はラブホまで行ってやり続ける事にした。

あうん、真城くうん♥

ぬ
ちゅ

はあはあっ、おばさんっ♥

ぬ
ちゅ
ぬ
ちゅ

そして最初は亜豆と結婚するために

絶対漫画家になるって思いながらがんばっていたけど

でも今は亜豆と結婚しておばさんと義理の親子関係になって

永遠にこの関係が続けるために

漫画家になりたいと心底思うようになっていたのだった。

はあはあっ、好きだよおばさんっ
俺とおばさんの事、俺っ♥
チュパチュパ♥

もう真城くんったら
本当にキスが好きなんだから♥
あんなに出したのに
またおちんちん勃起させてるわよ♥

またおばさんのオマンコの中で
こんなに膨らまして♥

ちゅぽ
ちゅぽ

じゅるっ

ちゅ
ちゅ
ちゅ
ちゅ

はあはあっ、だ、だって
おばさんにキスしてもらって
すっごく嬉しいから♥
俺だけの彼女になってくれたみたいで
だから、すっぽすっぽっ

そうだったのね♡
そんなにおばさんの事が大好きなんだったら
今日だけは真城くんの女になってあげるから
好きなだけキスしてあげるわね♡

大好きなキスをしてあげながら
オマンコでいっぱいやらうこと
してあげるから
いっぱい射精して楽しんでちょうだいね♡

ぬちゃ

ぬちゃ

おのちゃっ
ちやっ

にちゃ
ちやっ

くちや

はあはあっ、なばわっ

ほら、舌をもっと突きだして♡

ちゅるる♡

じゅる♡

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅほほ

じゅるっ

ぬいゅいゅ

あああっ、おばさんののぶろ、おばさんのよだれ
はあはあっ、俺すげえ気持ちいいよおっ！
もっとっ、はあはあっ
もっといやらしいキスしてえっ♡

オマンコでシゴキながら
もっといやらしいキスしてえっ！
おばわんっ、おばわんっ♡

はああっ真城くんっ♡
ちゅぱっちゅぱっ

♡JENENEN♡

♡JENENEN♡

なんだかすごく興奮してきちゃいますよ♥
チュパチュパ♥

あんやだ真城くんったら♥
オマンコすごく汚れてるのよ
そんなにむしゃぶりついたりしたら
真城くんのおクチが汚れてしまうわ♥

はぁっ
はぁっ

びんびん

びん
びん

オマンコ見
どうせ俺が汚しちゃったんだし
それとおぼせんのオマンコ見ていたら
ゴっしたくなくてきたんだから

でも、あんっ♥
そんなにしたら
おしっこしてきたくなくなっちゃうから♥
はぁはぁっ♥

それじゃあ

俺がおばさんのおしっこ飲んであげるから

「じじおしっこちやうてくださいよ」

はあ

はあ

おばさんのおしっこを飲みたいから

びびん

もう真城くんだったら

いいわよ

そんなに見たいのなら出してあげるから

顔をこっちに向けてるのよ

真城くんのおクチめがけて飛ばしてあげるからね

ちやぽ

ちやぽ

ほら

どうだった？

おばさんのおしっこ変な味しなかった？

はい、匂いも何もかまですごく濃くて
たまりなくエロかったですよ

はあっ♡

はあっ♡

そうなんだ
それはよかったわね♡

でも真城くんがおばさんみたいにならな
どんどんスケベになっていくのは
美保との将来の事を考えると
ちよつと不安になってきちやうわね♡

んん

んん

何言ってるんですか

そんなの全部おばさんの責任ですからね
おばさんがエロい体して俺に色んな事してくれるから

それに今だって
また勃起してきておばさんとヤリたくて
ウズウズしているんですから♥

はあっ♥

はあっ♥

もう真城くんったら♥
大丈夫なの？
今日結構な回数出してるんだけど♥

もちろん大丈夫ですよ
おばさんどだったら
何度だってセックスできるよ
思いますから♥

そお？

それなら別にいいんだけど♥

それじゃあ…



1時間後

はあはあ...おぼろ...おぼろ...

ミ
ち
や
っ

あんっ、真城くんっ♡

ミ
ち
や
っ
あ
ん
っ
あ
ん
っ



ああっ、ああっ、
おっ、おっ、おっ、

もっと大人のオマニッ
楽しませてえっ♥

おばさんのおまんこ
もっと可愛がってほしいからっ♥
真城くんの若いおチンポで
おばさんをもっとっ！

ああっ、真城くんっ♥



はあはあっ、おぼちゃんっ！
おぼちゃんっ！

XMP XMP XMP

XMP XMP

おぼちゃんっ
おぼちゃんっ

ああんっ、イクっっ
イツちゃっっっ♥
おまんこごんどんスケベになって

おぼちゃん
おぼちゃん

はあっ
はあっ

またオマンコっ！



あああっ

イック~~~~♡♡♡

アッ~~~~

アッ~~~~

あああ♡♡♡

アッ~~~~

あああ、真城くん♡
気持ちいい、おまんこすけ気持ちいい♡
ビクビクビクビク♡

びくっ♡
びくっ♡

びくっ♡
びくっ♡
びくっ♡

はあはあ、おばさん
俺も気持ちよすぎて
頭が真っ白になっちゃいましたよ♡

びくっ♡
びくっ♡

はあ♡
はあ♡

びくっ♡
びくっ♡

おばさんもよ
こんなに気持ちのいいセックスなんて
初めてだから
とっても最高だったわよ、はあはあ♡

それにしても私たち
こんな事ばかりしてて
いったいどれくらいヤッていたのかしら

ズロケケ...

イク

いい加減帰らなきゃいけないと
思うんだけど
お夕飯も作らないといけないし...

はあっ
はあっ

ビクビク

んんん

なんでも
でも...



あんっ♡

もうぢぢぢぢだけしていいですか？
俺おぼさんと
もうぢぢぢぢだけ
していいから

ま、まだずんずんしていいよ...

はっ♡

きゅっ

はっ♡
はっ♡

あッあッ

あッあッ

あッあッ

あッあッ

だって今日だけは
俺の女になってくれるって
言ってくれたから
だったらもう少しだけ
おぼさんとナマで恋人みたいな
セックスをしていたいから

あッあッ

だから
いいですか？

もう、じゅわんがなまらずには♡
そんなにしてほしいのならマミ♡

ぐちゃっ
ぐちゃっ
ぐちゃっ

ちゅぽ

ちゅ

ぎゅっ

はあっ
はあっ
ちゅぽっ

あ、あと少しだけなら
付き合っただけてもいいわよ
でも本当にあと少しだけだからね♡

わかった？

ぐちゃる
ぐちゃる

はあはあっ

はあはあっ

ありがとうの気持ちですー！

(あんなにすくすくしたの♡)

あほっ

ぐいっ
ちゅっ

ちゅっ

(本当にやばいかもしれないわね
こんなにあちゅいへ何度もイカされちゃったら
今日中には墜とされてしまっで、あんっ♡
完全に真城くんの女になってしまっそうだわ♡)

(でももしもそんな事になってしまったら
私と美保と真城くんの3人で
うまくやっっていけるのかしら♡)

はあはあっ

おぼわっ♡

はあっ
はあっ
おぼわっ

(こんなにすくいおちんちんなんでも
絶対に独り占めしたくなって
真城くんを私のものに
したくなってきちゃっから
…はあはあっ)

あちゅっ
あちゅっ

(だがそんな事になったら私…♡)

はあはあっ、おばさんっ
俺だけのおばさんっ！

またイキますからねっ！
おばさんのおまんこっ！
何度だっつてっ！

XMP XMP XMP

XMP XMP XMP

XMP XMP

ああっ、真城くんっ！
来てえっ♥
もっと真城くんのおちんちんを
感じたいから
おばさんのおまんこをもっと
熱くしてえっ♥

XMP XMP XMP

はあっ
はあっ

真城くんのおちんちんさささっ
もっどっ！
はあはあっ真城くんっ♥

